

津波から身を守るために！

■ 津波とは・・・？

津波は、海底で発生する地震に伴う海底地盤の隆起・沈降や海底における地滑りなどにより、その周辺の海水が上下に変動することによって引き起こされるものです。

発生した海水面の動き、上下動が特に大規模なものであれば、沿岸に達すると破壊力の大きな大津波となります。

■ 津波警報・注意報の種類及び避難指示・避難勧告

町長は、災害による被災の危険や被害等の拡大を防止するため特に必要と認めるときには、危険地域の居住者等に対し避難のための立退きを勧告し、急を要するときには避難のため立退きを指示できます。

●**避難勧告**：危険地域の全ての居住者に立退きを勧め又は促すための拘束力を伴わない行為。

●**避難指示**：危険地域の全ての居住者を立退かせるための拘束力を伴う行為。

津波発生に関する情報は、町が防災行政無線（戸別受信機）や広報車を通じてお知らせします。

気象庁は、地震が発生するとすぐに震源を決定し、地震発生後3分を目標に津波警報又は津波注意報を発表します。



▼防災行政無線・広報車



▼戸別受信機

日頃から、戸別受信機の電源を入れておくなど、つねに放送が聞き取れるようにしておきましょう。また、停電時に使用出来るように乾電池の取替えをお願いします。



海岸より「より遠く」でなく「より高い」場所へ避難しましょう。

津波警報・注意報の種類及び避難指示・避難勧告の別

種 類		解 説	発表される津波の高さ	避難指示・勧告等の別	沿岸地域における居住者等の必要な行動
津波警報	大 津 波 警 報	高いところで3m以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3m、4m、6m、8m、10m以上	避難指示	直ちに安全な場所(高台)へ避難しなければなりません。
	津 波 警 報	高いところで2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1m、2m	避難勧告又は指示	速やかに安全な場所(高台)へ避難しましょう。
津波注意報	津 波 注 意 報	高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m	(注意)	沿岸付近に近づかないよう、十分に注意しましょう。

※「津波の高さ」とは、平常の海面から、津波によって高くなった高さのこと。

■ 津波発生時10の心得

① 小さな揺れでも油断禁物！
小さな揺れの地震でも、長い時間ゆっくりとした揺れの場合、津波が襲来することがあります。



② 警報・注意報がでたらすぐ避難！
地震を感じなくても油断は禁物。避難を開始しましょう。



③ 海岸を離れ高い場所に避難！
海岸から「より遠く」でなく「より高い」場所へ避難しましょう。



④ 正しい情報を聞く！
情報を待っていると逃げ遅れる場合があります。防災行政無線、テレビ、ラジオなどで正しい情報を、収集は安全な場所で行いましょう。



⑤ 海岸や河川には近づかない！
警報・注意報が解除されるまで、海辺や川岸には絶対近づかないようにしましょう。



⑥ 津波のスピードは速い！
注意報や警報がでる前にも津波もあります。海を伝わる津波の速さは沖合いの水深 5,000m でジェット機なみで海岸付近の水深 500m でも新幹線なみです。



⑦ 津波は繰り返し襲ってくる！
津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。警報・注意報解除まで気を緩めないようにしましょう。



⑧ 引き波がなくても要注意！
震源の地形によっては、引き潮が起らない津波もあり、直接大きな波が襲ってくることもあります。



⑨ 津波の高さは想像を超える！
津波は海岸の地形によっては数倍の高さになることもあります。



⑩ 海上では！
船舶は津波情報で速やかに対応しましょう。



■ 災害時の安否確認

災害時の家族や友人の安否の確認

●災害用伝言ダイヤル171のかけ方

震度6弱以上の地震など大きな災害が発生した場合「災害用伝言ダイヤルサービス」が稼働します。事前契約などはいっさい不要。家族や友人などが被災した場合の安否の確認や連絡などに活用できます。 ※災害用伝言ダイヤルサービスの開始はテレビ・ラジオなどで通知されます。

伝言の録音方法	171→1→(000) 000-0000→ 伝言を入れる (30秒以内)
	ガイダンスが流れます
	被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を
伝言の再生方法	171→2→(000) 000-0000→ 伝言を聞く (30秒以内)
	ガイダンスが流れます
	被災地の方は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

●携帯電話の災害用伝言板

携帯電話会社では、震度6弱以上の地震などの大きな災害が発生した場合、ご自身の安否を身内の方々に伝える「災害用伝言板サービス」を提供しています。災害時には各社のトップ画面に「災害用伝言板」が開設されます。

NTT ドコモ	http://dengon.dokomo.ne.jp/top.cgi
a u	http://dengon.ezweb.ne.jp/
ソフトバンクモバイル	http://dengon.softbank.ne.jp/
ウィルコム	http://dengon.willcom-inc.com

■ 日頃の備え

家族で「もしものとき」について話し合いましょう。

- 地域（地形）を良く知り、家族の避難所や避難ルートを確認しておきましょう。
- 夜間のために懐中電灯などを準備して置きましょう。
- 地震や津波を正しく理解して地震や津波から自分を守る方法を知ること地震や津波による被害を減らすことが出来ます。
- 家族の連絡方法を決めておきましょう。

※あらかじめ記入し家族みんながわかる場所に置いておきましょう。

家族が離ればなれになった時の集合場所又は避難場所

緊急時の連絡先	電 話	緊急時の連絡先	電 話
大洗町災害対策本部	267-5111		
大洗町消防本部	266-1119		
水戸警察署大洗地区交番	267-0110		

作 成 平成23年7月
問合せ先 大洗町生活環境課
〒311-1392 大洗町磯浜町 6881-275
電話 (029) 267-5111 (代)